

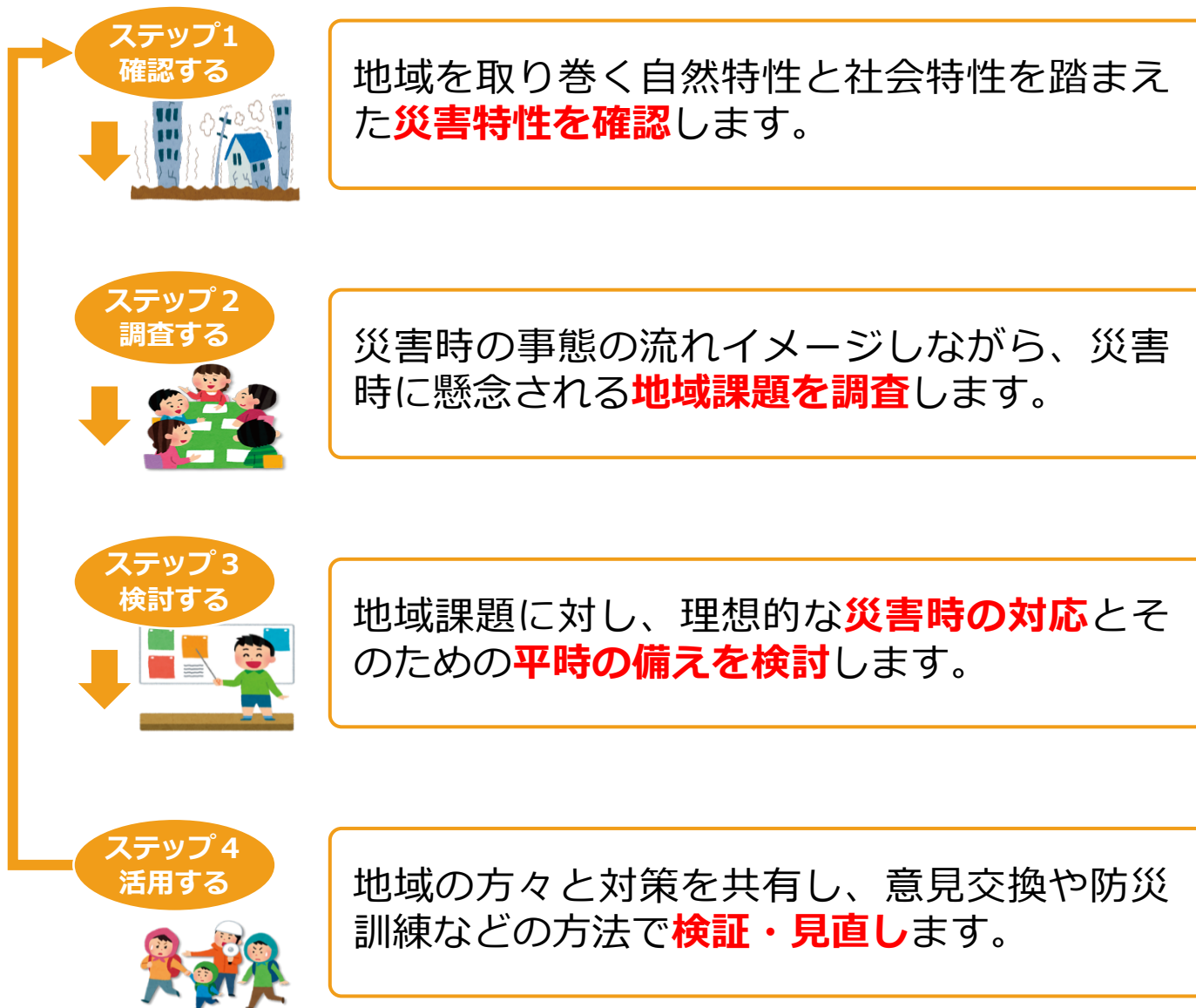
【宇和島市】和霊校区 地区防災計画策定支援

第3回ワークショップ

地区防災計画の運用検討

防災科学技術研究所

「地区防災計画づくり」のすすめ



スケジュール（案）

**【8月25日】
地域防災研修会**

地域調整・勉強会

**【9月28日】
第1回WS**

防災まちあるき

**【11月30日】
第2回WS**

計画素案の作成

**【2月2日】
第3回WS**

地域発表会

災害時の対応と平時の備えを検討

地域資源を活かした災害時の対応と、そのための平時の備えを検討します。



課題 (例)



※学校防災教育の一環として、城北中学校と協力・実施

地区の取組共有とe防災マップづくり（地域と学校の協力）

地域



学校

- 日時：2020年1月18日 2時間程度
- 参加：城北中学校 地区の取り組みの共有 1年生90名 保護者10名
e防災マップ作り 生徒20名程度
- 協力：A～G地区の代表6名

①地域の防災取り組みに関する情報共有

各地区の今までの取り組みをもとに、地区の災害危険性（被災経験）、災害時の地域課題、課題解決のための地区の防災対策を共有。



②生徒が協力したe防災マップの作成

各地区が作成した防災マップに対し、「地域防災Web」を活用して情報をデジタル化し「e防災マップ」を作成。



議論のルール

【発言方法】

- 聞き取りやすい声でゆっくりとお話してください。
 - ・記録しやすいように
- 他の方のお話も聞きましょう。

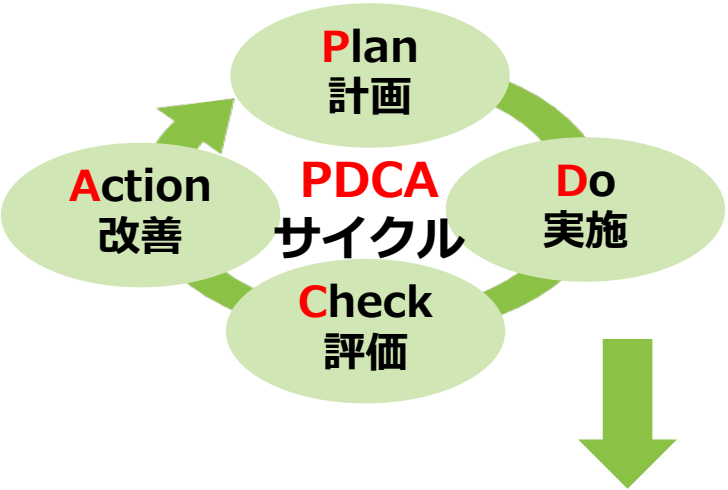
【記録方法】

- **（進行係）** 各テーブルで議論の進行をお手伝いします。
- **（各自）** 発言内容を付せんに書いてください。
 - ・一枚の付せんに一つのことを書くように
 - ・発言内容を細かく（文章で）大きく書くように
- **（整理係）** 発言記録の補助、ワークシートへの付せんの貼り付け・整理をお願いします。

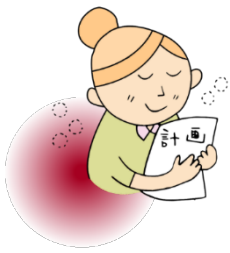


アクションプラン（行動計画）の検討

地域の方々と対策を共有し、意見交換や防災訓練などの方法で検証・見直します。



地区防災計画は、継続して地区で育てていくことが大切です。PDCAサイクルで検証・見直しが必要です。



- 検討事項**
- 平時に何をしておくか
 - 誰が主体となっていくか
 - 誰と協力したほうが良いか
 - いつまで（短・中長期）行うか

ステップ1 確認する

ステップ2 調査する

ステップ3 検討する

ステップ4 活用する

アクションプラン検討シート		地区名 :		実施時期 (いつ頃)		備考
平時から取り組んでおくべきこと	具体的なアクション	連携・協力先 (誰と)	短期(1年)	中長期(~3年)		
安否確認	SNSを活用した連絡網の整備 実施内容・方法 (何を、どうやって) SNSベースの比較検討勉強会を実施する	高校生に講師依頼	4月調整 8月実施			
	各戸安否報告の仕組みづくり 安否札を作成し配布・周知する	地元企業に出資を相談する		来年4月以降		協力企業がない場合は市に相談
救出・救護	応急手当ができる人材の育成 防災訓練時に普通救命講習会を開催する	消防署 消防団	7月準備 9月実施			
	学童の地域講座で小学生に教える	中学校防災クラブ	9月準備 11月実施			
福祉避難	要配慮者の避難支援体制の整備 要配慮者の避難支援「グループ」を検討する	民生委員	6月~検討			市から名簿を受領予定(4月)
	要配慮者の個別避難カードを作成する	様式は福祉事業者に相談 本人・家族	10月~様式検討	来年4月~順次		

協力関係作りのために**親睦会**もおすすめ!



アクションプラン検討の進め方 1～2

1. 優先的に取り組む事前対策の抽出

2. 具体的なアクションの検討 (何を) (誰が) (誰と) (いつ)

テーマ 安否確認	平時から取り組んでおくべきこと	具体的なアクション		実施時期 (いつ頃)		備考
		実施内容・方法 (何を、どうやって)	連携・協力先 (誰と)	短期(1年)	中長期(~3年)	
	SNSを活用した連絡網の整備	SNSサービスの比較検討 勉強会を実施する	高校生に講師依頼	4月調整 8月実施		協力企業がない場合は市に相談
	各戸安否報告の仕組みづくり	安否札を作成し 配布・周知する 安否札の使い方を検討する	地元企業に出資を相談する		来年4月以降	



議論を進めながら各自付せんに記録し、ワークシートに整理し、発表します

10分

アクションプラン検討の進め方 1

1. 優先的に取り組む事前対策の抽出

2. 具体的なアクションの検討 (何を) (誰が) (誰と) (いつ)

① テーマの抽出

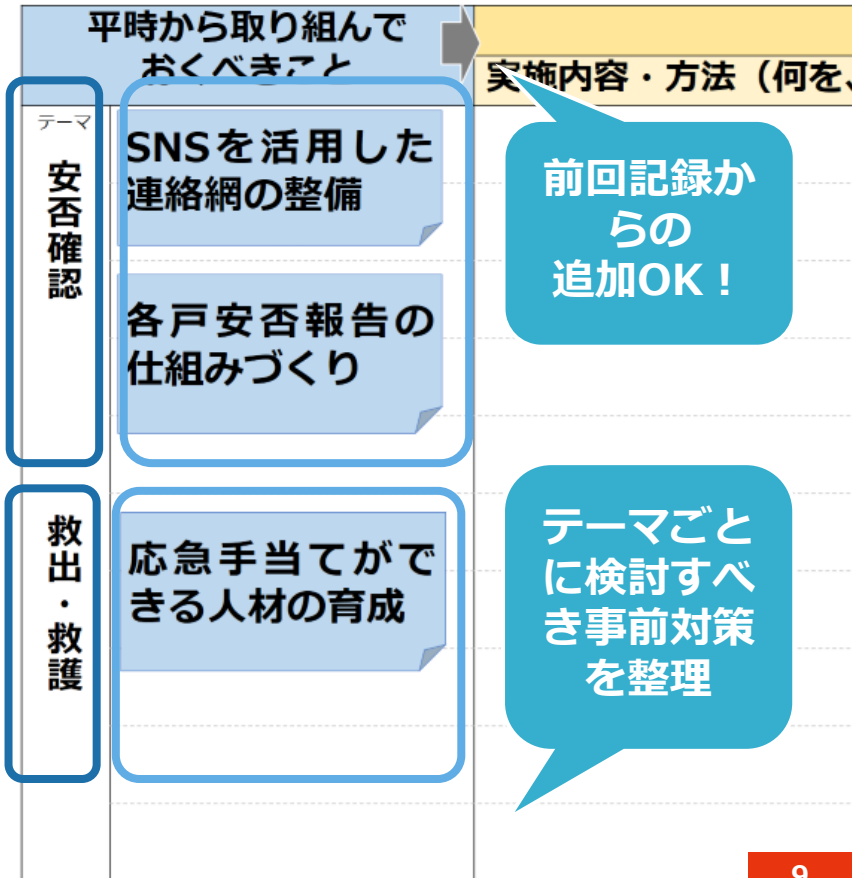
前回ワークショップで議論したテーマを水色付せんに書いて、ワークシート左列に貼ります。

② 優先的に取り組む事前対策の抽出

前回ワークショップの記録の「平時から取り組んでおくべきこと」から、優先的に取り組むものを選び、水色付せんに書いて、ワークシートに貼ります。

①テーマ : ②事前対策

テーマ	災害時の地域課題 困ること、実施すること	現状の対策状況	災害時の理想的な対応			平時から取り組んでおくべきこと	自助または公助に関する内容
			行動	人、組織	もの、施設		
1 避難行動	防災無線等による情報を確認する	防災無線内容が聞きづらい					無線用語を整理し 型化して聞きやす くにする → 受信機
	自治体の連絡網の徹底	各自治体の連絡網はあるが徹底されていない				各自治体で連絡網の徹底 市の防災訓練への参加に合わせ、連絡方法の確認	
	避難場所どこへの連絡は？	連絡手段が電話かメールか決まっていない					
	徒歩での避難 道路の冠水	要支援者への配慮は？	ネットの情報が連携性があるとい				避難について定期的に話し合い、まち歩きを共通の認識しておく
2 避難生活	避難ルートの確認 どこを通るか						
	避難した人の人数の確認、安全の確認 安否確認		避難者カードは入場券に 渡し、避難所が少し減 らしてから収集する			各自治体で統一的情 報収集カードを作って訓 練する 避難所キットをそれぞ れの地区を記入したカ ードを作って入れておく	
	避難者スペース確保、居場所区分け	避難所区分等が出来ていない	段ボール等でプライバシー確保 予め線を引いておく マットを敷く			区画（パーテーション）の検討をする	
	自治体のグループリーダーの指定			自治体長、各班長がリーダーとなる			
	避難者への対応、救援物資の配布方法？					備蓄品の検討	



40分

アクションプラン検討の進め方 2

1. 優先的に取り組む事前対策の抽出



2. 具体的なアクションの検討
(何を) (誰が) (誰と) (いつ)

① 具体的な実施内容と方法の検討

「優先的に取り組むこと」を実行するにあたり必要な、具体的なアクションを検討し、黄色付せんに書いて貼ります。

- ✓ 実施内容・方法 (何を、どうやって)
- ✓ 連携・協力先 (誰と)

② 実施時期の検討

具体的なアクションを実施 (着手) する時期を検討し、時期をピンク色付せんに書いて貼ります。

- ✓ 短期 (すぐにやること、1年以内)
- ✓ 中長期 (1~3年程度かかること)

アクションの実行にあたり必要な情報や要望などは備考欄に整理します。

アクションプラン検討シート

24時間から取り組んでおくべきこと

SNSを活用した連絡網の整備

具体的なアクション		実施時期 (いつ頃)		備考
実施内容・方法 (何を、どうやって)	連携・協力先 (誰と)	短期(1年)	中長期(~3年)	
SNSサービスの比較検討勉強会を実施する	高専生に講師依頼 地を相談する	4月調整 8月実施	来年4月以降	協力企業がない場合は市に相談

各2分

発表・全体共有

各グループで議論・整理したアクションプランの中から、地域でもっと重要と思う、かつ他の地域との違いがある1つの取組について、具体的なアクションと実施時期を発表。

「救出・救護」の「応急手当てができる人材の育成」について、私たちの地区の小学校には、学童で定期的に地域講座があるので、**地域講座で小学校に教えること**にしました。**中学校防災クラブ**の生徒にも協力してもらい、7月頃から準備して、9月の訓練時に実施します。

応急手当て
ができる人
材の育成

学童の地域講
座で小学生に
教える

中学校
防災ク
ラブ

9月準備
11月実施

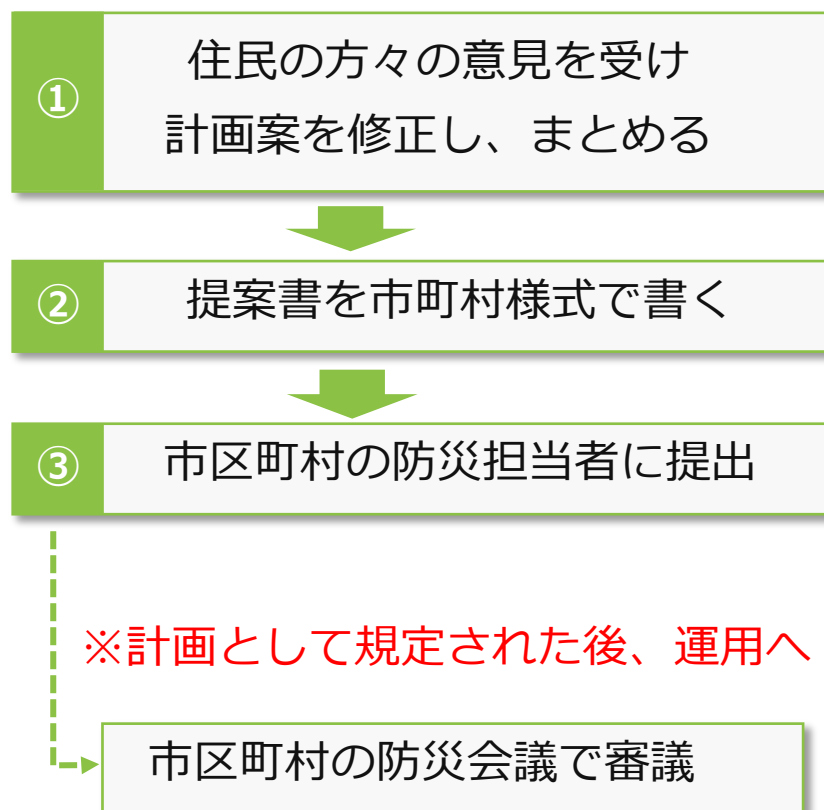
1つの事前の取組へのアクションに絞ってください



アクションプラン検討シート		地区名 : _____		実施時期 (いつ頃)		備考
平時から取り組んでおくべきこと	具体的なアクション	実施内容・方法 (何を、どうやって)	連携・協力先 (誰と)	短期(1年)	中長期(~3年)	
テーマ 安否確認	SNSを活用した連絡網の整備	SNSサービスの比較検討勉強会を実施する	高校生に講師依頼	4月調整 8月実施		
各戸安否報告の	安否札を作成し	地元企業に出資		来年4月以降		協力企業がない場合は
福祉避難	要配慮者の避難支援体制の整備	要配慮者の避難支援が	民生委員	6月~検討		市から名簿を受領予定(4月)
	要配慮者の個別避難計画を作成する	要配慮者の個別避難計画を作成する	民生委員 様式は福祉事業者に相談 本人・家族	10月~様式検討	来年4月~順次	

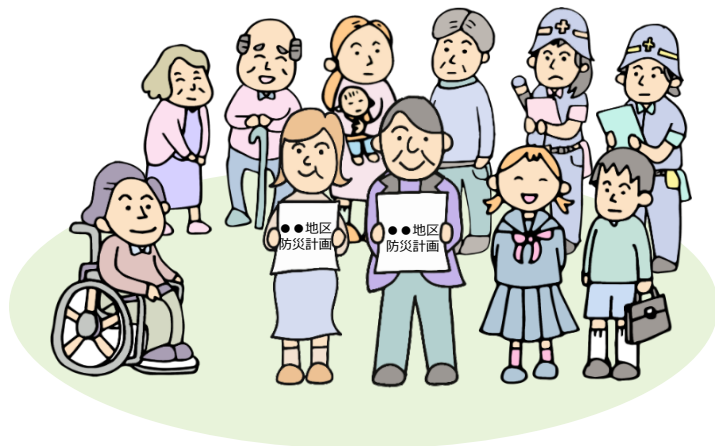
地区防災計画の提案

作成した地区防災計画案は、地区住民の合意を得たうえで、行政の防災担当者を通じて、行政の防災会議に提案。

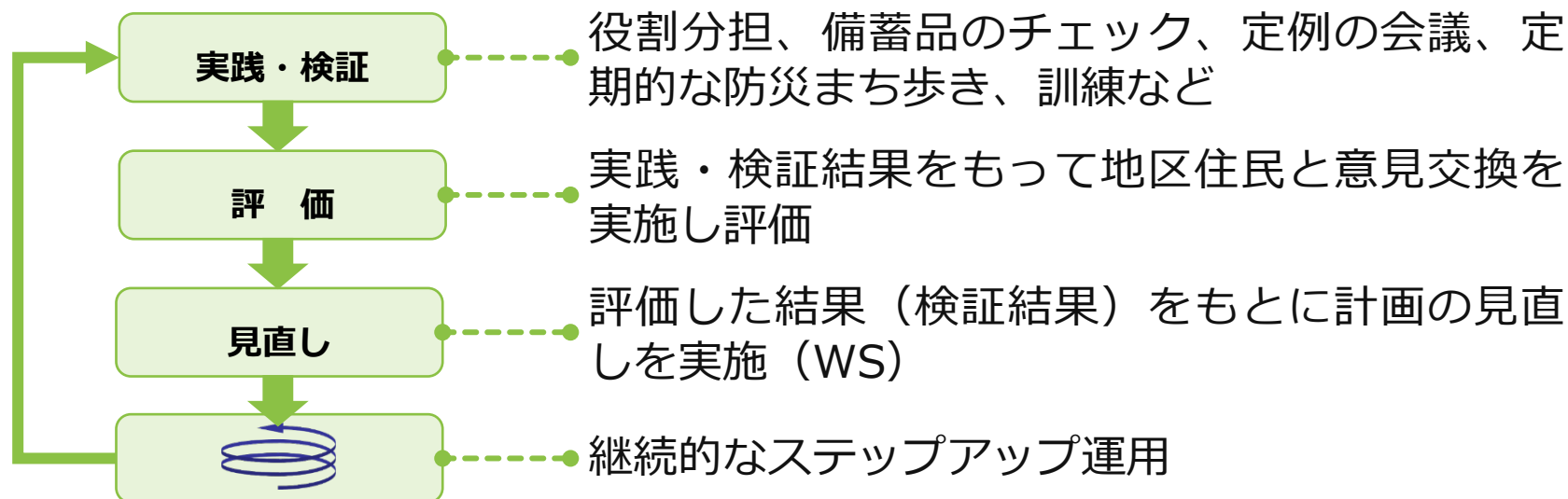


地区防災計画の運用

提案する地区防災計画案は、明確な作成主体と、継続した運用（アクションプラン）の方針を含むもの。

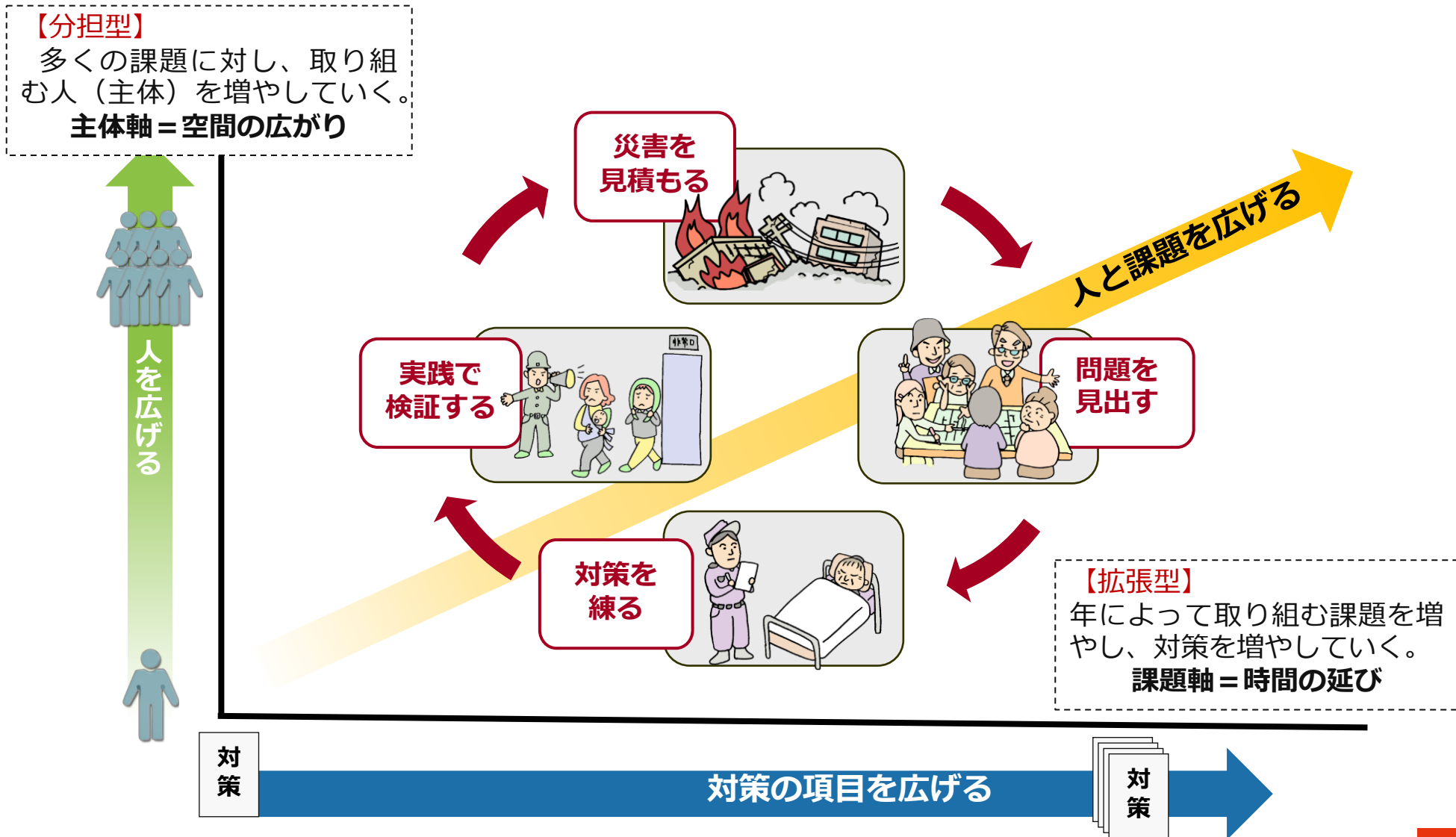


- **計画名称**：〇〇地区防災計画
- **作成主体**：〇〇協議会
- **主体構成**：代表名、構成員名、事務局
- **同意署名**：地区住民の同意署名リスト



地区防災計画の拡張

計画の検証と見直しにおいては、「人」を広げて関係性を拡張するとともに、「対策」のアイデアを増やします。



20分

計画素案検討の進め方

素案検討シート		地区名 : _____
計画運用主体	名称	地区防災計画運用委員会 仮) 宇和島市和霊校区自主防災会
	代表	例: _____ 自主防災会会長 ●●
構成	構成	和霊校区の単位自治会 ●● 防災士連絡協議会 ●●
	構成員	PTA ●● 愛護会 ●● 民生委員児童委員協議会等
見直し方法	例: 毎年3月の訓練で計画内容を実践し、反省会を実施し、計画を修正する <見直し方法>	

① 計画運用主体の検討

計画を運用する主体の名称と構成を検討し、直接書き込みます。

- 例： ●●地区防災計画運用委員会
●●地区防災計画協議会

- 例：代表 ●●自治会長 氏名
構成員 民生委員 氏名
●●小学校長 氏名



② 見直し方法の検討

計画の定期的な見直し方法や時期を検討し、直接書き込みます。

- 例：組織の代表が2年ごとに交代
毎年3月の防災訓練で計画内容を実践し、見直し、計画を修正する

地区防災計画（案）の発表にむけて

■発表会の開催

－3月15日（日）を予定（10:00もしくは10:30-12:00 於：和霊小学校）

➡作成趣旨と流れ（5分、和霊校区自主防災会我妻会長）、和霊校区地区防災計画づくりについて（10分、防災科研）、計画紹介（70分、各地区）、質疑等（8分）

■発表会までの準備・やること（各地区）

①地区防災計画案の作成

－主体・代表・構成員を決め、計画内容を詰めて計画案を作成する（PC入力）

➡和霊公民館にデータ提供・防災科研が印刷・当日配布し、住民添削（用紙付き）

②防災マップの整理

－マップ上の公開情報と非公開情報を整理

➡地図○×を記入し、和霊公民館に提供（防災科研が再印刷・当日掲示・計画挿入）

③発表資料の作成

－WSでの議論結果のスライド作成・当日発表（10分程度×6）

➡本日、代表・資料作成者との打ち合わせを実施（見本有）